

②通行規制社会実験の評価

通行規制社会実験の結果報告（交通量等調査、アンケート調査）をもとに、今回明らかになった課題や今後実施する場合の配慮、新たな展開のための提案事項などについて、グループで話し合いを行い、発表しました。

★実験結果に対する評価・感想など★

- ・賛否両論あった。
- ・住民(商店)と来園者との共存共栄が必要。(利害の相互理解)
- ・南湖の良さが分かった。(安心できる本来の公園の姿)
- ・今後を考える良いきっかけになった。
- ・周知の方法が不十分だった。
- ・通過交通をどのようにして排除するのかが問題である。
- ・一般市民、住民、来園者それぞれの声(考え方)の分析が必要。
- ・南湖公園の位置づけ(観光地↔景勝地)を明確しないと、方策が決まらないのではないか。



ワークショップでの話し合いの様子

★周囲の反響・反応★

- ・通行規制そのものに関心が低かった。
- ・別の道路が整備されれば、不満は減るのではないか。
- ・市民レベルでの動きが必要ではないか。
- ・お店の魅力づくりが必要ではないか。
- ・規制するなら段階的に。
- ・駐車場から園内までの誘導方法が大切。

★今後の展開、配慮事項など★

- ・続けることが大切。
- ・実験の実施時期、実施期間、実施区間の再検討。
- ・規制方法(一方通行、速度規制など)の再検討。
- ・告知看板の設置位置、設置期間、迂回方法の再検討。
- ・周知の方法、期間の再検討。
- ・結果の報告

③南湖に必要な整備、サービス、情報の拾い出し

社会実験の評価を踏まえ、“湖周歩きを楽しむ”を大きな目的とし、①サイン、②散策ルート、③休憩所、④道路、⑤ガイドの5つのテーマに対して、南湖の保全・利活用に必要なプランの提案を行いました。

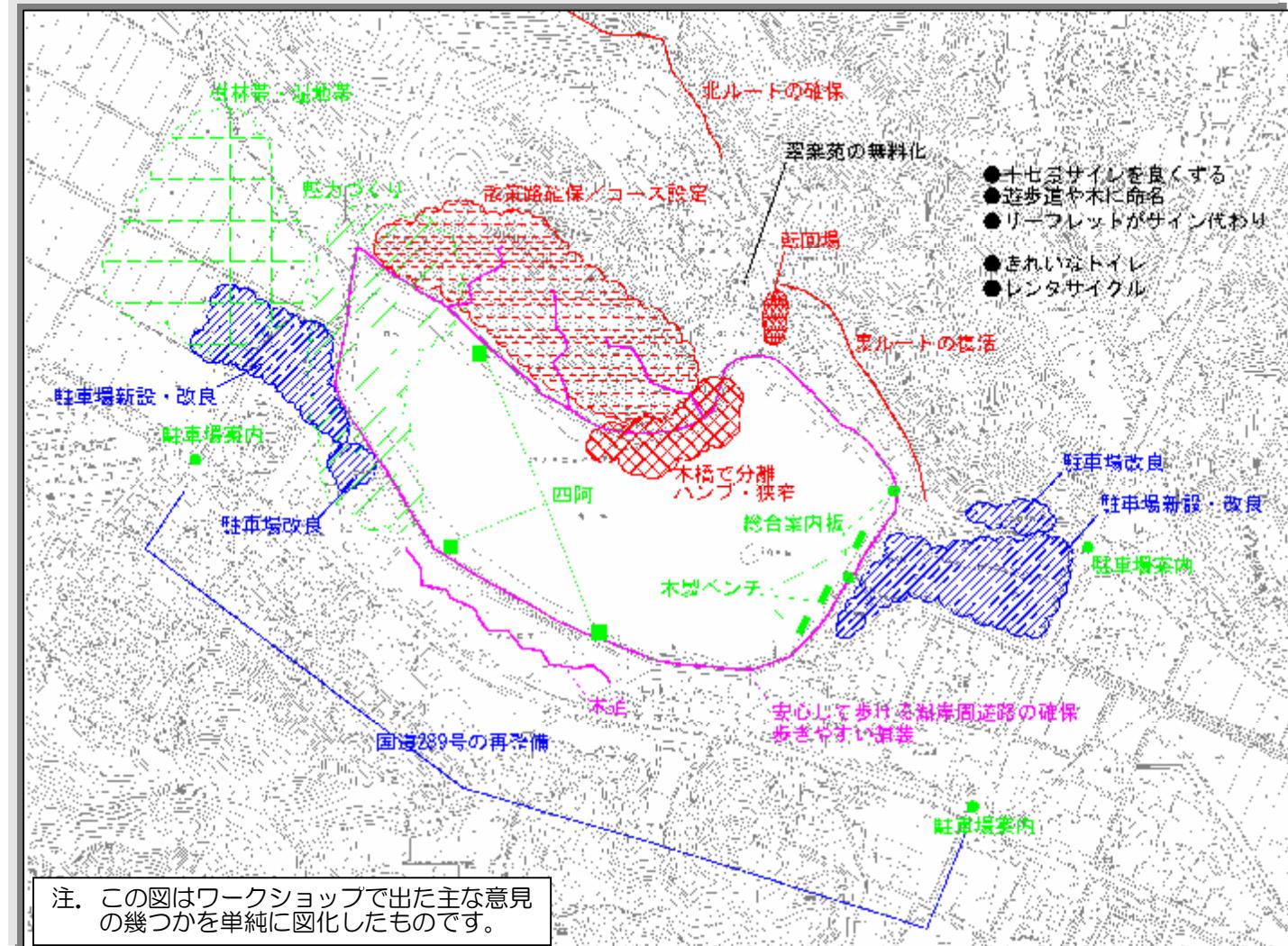
①サイン：白河の素材で／17景のサインを良くする／さりげないデザイン／駐車場への進入路表示／総合案内必要／遊歩道や木に名前をつける／できるだけ少なくしリーフレットで対応

②散策ルート：30分コース、2時間コースなどのルート設定／松林の中を歩けるように／両端はアスファルトにし、中央を木質チップで舗装／危険なところは木橋で車と分離／レンタサイクル／木道の設置

③休憩所：四阿、ベンチを湖周に分散して配置／寄付による木製ベンチに個人名を入れる／高いところから南湖を見下ろせるように／西側に魅力づくり(子どもの遊べる場所)／きれいなトイレを／翠楽苑を無料化／樹林帯や湿地帯の設置

④道路：狭窄・ハンプ／翠楽苑横に転回場／メインの駐車場は国道289号沿い・東西に大きな駐車場・今ある駐車場を改良／国道289号の再整備／裏ルート・北ルートの復活・確保

⑤ガイド：昔からの住民がリーダーに／パンフレット、インターネット等を通じた広報／NPOの設立



ワークショップでの話し合い及び発表の様子

④推進に向けた提案

プランを推進していくため、また、一般市民の関心と理解をより広めていくため、コーディネーターより本ワークショップへの参加が期待できる団体の有無について問い合わせたところ、次のような方達の名前があがりました。

白河商工会議所 青年部

P T A 連絡会

住友ゴム工業(ボランティアG)

手づくり絵本の会

お話しボランティア(市図書館)

しらかわ語りの会

自然保護協会

生協(にじの森委員会)